

研究課題名	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベースの作成
当センターの研究責任者	整形外科 村津裕嗣
研究目的	<p>特定非営利活動法人 日本脆弱性骨折ネットワーク (FFN-J) では、国際的組織である FFN 共通の Minimum Common Dataset を用いた大腿骨近位部骨折のデータベースを作製して、地域、病院間、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討を行う。また、その結果に基づいてガイドラインを反映させた体系的治療を提案する。本研究は継続的なプロジェクトとして日本における大腿骨近位部骨折の適正治療、二次骨折予防の徹底を実現し、海外での実施モデルを参考にして国家的に診療報酬に反映されることで脆弱性骨折の発生減少や高齢者の日常生活動作レベル低下予防を目指す。</p>
利用する情報	<p>■対象  はりま姫路総合医療センターに 2023 年 10 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の間に入院し、大腿骨近位部骨折の治療を受けた患者さん</p> <p>■利用情報の内容  観察・調査項目</p> <p>1) 登録時  【患者基本情報】  新たに付与した研究用の患者番号、性別、受傷時年齢  【患者情報】  受傷前住居、受傷前の活動性、術前簡易認知テスト、術前全身状態 (ASA grade)、骨折側、病的骨折、骨折のタイプ、骨折直前の骨粗鬆症に対する薬物療法</p> <p>2) 急性期  【急性期情報】  受傷日時、来院日時 (整形外科)、入院中の生存状態、手術法、手術日時、手術待機時間、麻酔の種類、褥瘡、入院中の内科医の関与、手術翌日の立位、入院中に治療を必要とした肺塞栓</p> <p>3) 退院時  【退院情報】</p>

	<p>退院先、退院日時（整形外科）、入院期間、骨粗鬆症に対する薬物療法</p> <p>4) 入院後 30 日目の情報 【フォローアップ情報】 入院日から 30 日目以内の大腿骨関連の再入院、再手術、人工骨頭挿入後の入院日から 30 日以内の追加処置を必要とする術後骨折の有無（30 日目のみ）、生存状態、活動性、住居、骨粗鬆症に対する薬物療法</p> <p>5) 入院後 120 日目、365 日の情報 【フォローアップ情報】 入院日から 120/365 日目以内の大腿骨関連の再入院、再手術、生存状態、活動性、住居、骨粗鬆症に対する薬物療法</p> <p>■利用情報の該当期間 2023 年 10 月 1 日～2033 年 3 月 31 日</p>
研究期間	2033 年 3 月 31 日
利用情報の他機関への提供の有無 (有の場合はその名称)	特定非営利活動法人 日本脆弱性骨折ネットワーク (FFN-J) 大腿骨近位部骨折データベース事務局 (メディカルテクノロジーズ株式会社内)
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の個人を特定できる内容は削除
企業等からの資金提供の有無 (有の場合はその名称)	無
お問い合わせ先	兵庫県立はりま姫路総合医療センター 総務部 診療サポート課 電話番号：079-289-5080
備考	